

Alma Mater SAPIENTIA

英知大学同窓会会報

Vol. 8 Oct. 10, 1997

発行：英知大学同窓会兵庫県尼崎市若王寺2-18-1

発行責任者：野村裕

編集：英知大学同窓会

- 4期を通り過ぎて……………1
- 学長挨拶……………2
- 1997ホームカミングデイ…2
- 土曜講座のお知らせ……………3
- 交流スポーツ大会の報告……………4
- 英知から松本清張賞！……………5
- 関東支部だより……………6
- クラブ紹介……………7
- これから(前田貞夫氏)……………7
- 留学生からのお便り……………8

4期を通り過ぎて

同窓会会長 野村 裕

日頃の同窓会に対する、ご支援、ご協力、ご声援を深く感謝いたします。

新役員体制になり、4ケ年が過ぎようとしております。何もわからないまま、役員一同協力のもと、「基本的組織の充実」を柱に、努力してまいりました。

まず、事務局の設置と拡充、会員名簿の整理作成、在校生の準会員化、大学院生問題、同窓会会費の安定的収入制度、ホームカミングデイの充実、会報の定期的発行、などなど取り組みが多岐にわたり、ない頭脳をフルに活用し、組織の充実に努力してまいりました。最近では、なんとか初期目標の組織の充実がはかれてきたものと思います。これは、ひとえに大学側の理解と協力、また、事務局(就職部)の皆さまの支えにより実現できたものと考えます。

今期は、さらなる充実をはかるべく、「在校生と卒業生の交流」の場として交流スポーツ大会の開催、大学側の一層の同窓会への理解を深めていただくため「教職員と卒業生との懇親会」を開催いたしました。初期にもかかわらず、期待以上の出席と中身の濃いイベントとなり満足しております。今後、この種の交流の場がたびたび設定でき、ますます拡充され、多数の出席者により盛り上がることを期待して努力するものです。

この1年で、一番の思い出は、役員および事務局で1泊2日の合宿をしたことです。仕事の疲れもありながら、全員が徹夜に近いかたちで朝がしらせるまで、活発な意見交換をしました。若い役員を中心に、日頃、同窓会活動に対する疑問

や存在価値など幅広い話題に集中しました。

この合宿の目的は「同窓会の IDENTITY(アイデンティティ)」を探るものでありました。結論には至りませんでした。が、初めてこのような機会がもてたことを喜び、同窓会の存在価値、活動の意義を少しは理解を深めたものと確信しております。

基本的にはボランティアな活動であり、誰かがやらなければならぬ活動でもあるので、皆さまのますますのご協力、ご支援が我々を勇気づけるものになると再確認いたしました。

ご存知のとおり、わが母校も、今日の少子化の中、生き残りさらなる発展のために努力されています。ここで、わが同窓会、同窓生が、さらなる努力と協力なくして大学の発展はありえないものと考えております。

役員一同、日々の仕事に追われながら、いろいろ知恵を絞り、なにかと母校の発展の一助となるべく努力しております。しつこくなるようですが、今後ともますますのご支援を賜わりますようお願いいたします。



9月24日定例会にて



生き残り発展する 大学をめざして

ご承知のように、こんにち日本の私立大学は、受験人口の減少にともない冬の時代と一般に言われ、金融界と同様つづれる大学も出てくると言われています。

英知大学は本年創立34周年を迎

え、大学院人文科学研究科後期博士課程宗教文化専攻、英語学英米文学専攻を協議申請中で、平成10年4月には開設されることとなります。また来年10月にはサピエンチア・タワーが完成しますので、お祝いをしたいと思っております。



学長 岸英司

国際的にも認められる大学院のある大学として、これからも創立の精神を生かして発展していきたいと思っております。

卒業生、同窓会の皆様の物心両面のご支援をお願いしたいと思います。

本年10月上旬には招待のあった蘇州鉄道師範学院(中国鉄道省立大学)に、姉妹校提携をめざして、大学の代表団を引きいて訪問いたします。皆さまの社会における健闘をお祈りいたします。

「ホームカミングデー」 今年もぜひご参加ください

恒例の「英知大学同窓会・総会」および「ホームカミングデー・懇親会」が、来る11月3日(月)母校において開催されます。

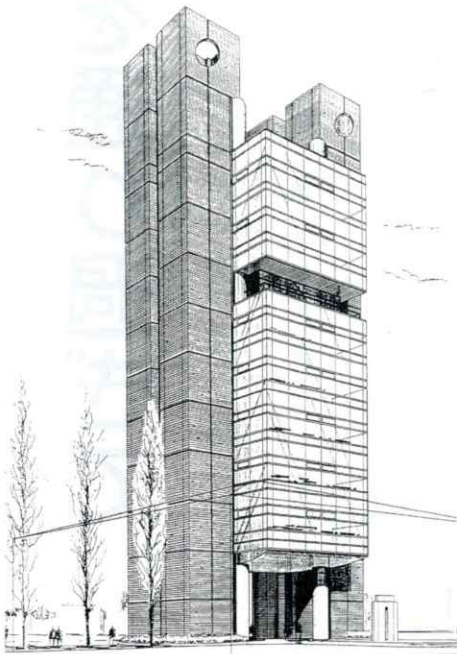
開学35年目の「変化する英知」は、キャンパスの随所にその片鱗が見られます。本年10月にオープンする「コロクトーリウム・サピエンチェコ」(英知語らしいの家)には、喫茶店、売店が予定されており、学生や教職員共通の憩いの場となる予定です。総会当日には、完成したその姿を見ることができ、また、「(仮称)サピエンチア・タワー」も来年秋には完成の予定です。こちらは、当日工事の真つ最中で予想図を参照に来年を



就職部長室前に同窓会専用資料ラックが設置される

楽しみにご期待ください。

ところで、かねてより宣伝広告の少ない英知と云われていたが、最近では阪急梅田駅のホーム中央壁面には、大型の電飾広告が出されました。また、7月30日・9月27日の「オープン・キャンパス」の告知には、阪急電鉄全線の車内に案内広告が出されまし



1998年9月末完成予定のサピエンチア・タワー(仮称)



阪急全線の車中に「オープンキャンパス」の広告される



サピエンチア・タワーの建設工事始まる

た。ご覧になられた方も多いことでしょう。今日の少子化の中で、生き残り更に発展せんとする英知の懸命の努力が伺われます。卒業生のわれわれも母校のために、少しでもいや大いに役立つべき時が来たように思われます。

どうぞ、何かとご多忙のこととは存じますが、母校に足を運び、後輩のために母校の発展のために、忌憚のないご意見、ご希望やご要望をお聞かせください。詳細は、次項のとおりにつき、お待ちしております。



「英知・土曜講座」

秋期募集始まる。

英知大学では、3年前より「土曜講座」として、「TOEICブラッシュアップ講座」や「公務員試験対策講座」などの講座が準備されています。これらは、在学生の就職対策や社会人となるための基礎的教養を習得することを目的に始められましたが、今日では、在学生に限らず、卒業生も多く参加しており、卒業後も「再び学ぶ」姿勢の表われと思われまます。今秋も、様々な講座の開講が予定され、卒業生の参加が期待されます。詳しくは、就職課までお問い合わせください。

TOEICブラッシュアップ講座
(Test Of English for International Communication)

●実力別にクラス分けし、「話せる(ディスカッションできる)英

- 「語」の実践的学習をおこなう。
- 9月27日(土)のTOEICを受験するか、2年以内のスコアのコピーを提出願います。スコアを持たない方は、ご相談ください。
- 学外からブラッシュアップ専門のネイティブスピーカーによる授業をおこなう。
- 1クラスは15名限定である。
- 10月18日～2月28日
- 午前9時半～12時45分
- 受講料…3万8千円
(テキスト代を含む)

- 11月29日～7月末日
 - 午前9時半～12時45分
 - 受講料…4万9千円
(テキスト代を含む)
- なお、いずれの講座も10名を下回る応募の場合は、開講できないこともありまます。その際は、ご了承ください。
- また、開講直前直後であっても、参加は可能な場合がありますので同窓会事務局(06・498・6258)か、就職課(06・491・7169)までお問い合わせください。

公務員試験対策講座

- 地方公務員行政職試験の受験対策の学習をおこなう。
- 1クラスは20名程度である。
- 11月29日～7月末日
- 午前9時半～12時45分
- 受講料…4万6千円
(テキスト代を含む)

宅建試験対策講座

- 宅地建物取引主任職試験の受験対策の学習をおこなう。
- 1クラスは20名程度である。
- 11月29日～7月末日
- 午前9時半～12時45分
- 受講料…4万6千円
(テキスト代を含む)

旅行業務試験対策講座

- 一般旅行業務取扱主任職試験の受験対策の学習をおこなう。
- 1クラスは20名程度である。



一九九七年度
「ホーム・カミング・デイ」
「同窓会・総会」のご案内

来れ!

11月3日午後2時!

旅行券や

ホテルディナー券が

当たる!

1997年度

英知大学同窓会・総会

11月3日(月曜・文化の日)

午後2時～3時

於…3号館T101教室
議事

●1997年度、活動報告

①会費管理システムの充実

②組織の充実(交流強化)

③「会報」の充実

●1997年度、会計報告

●1998年度、活動計画

①交流活動の充実強化

②会費管理システムの充実

③「名簿」編纂

●1998年度、予算計画

※出席できない場合は、必ず、「委任状」を送付願います。

ホームカミングデイ・懇親会

■同日、午後3時30分～6時

■於…学生食堂

懐かしい同級生、先輩後輩、そして教職員のみなさんと、ご歓談ください。ご家族と一緒に誘い合わせのうえ、お越しください。

●会費…会員は、無料です。

(准会員も含みます)

会員以外は一人500円です。

(ご家族ご友人など)

★旨いものコーナー

ちゃんこ鍋・パエリア・タコ焼・焼きそば・バーベキュー・スパゲッティなど。

★バザーコーナー

古本・トレーナー・Tシャツ・バッグ・書籍・工芸品など。

バザー販売品の供出を!

※宅配便や郵便で事務局まで

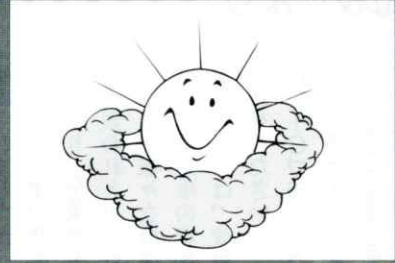
お送り(着払)ください!

★ゲームコーナー

ビンゴ・クイズなど。

(ビンゴゲームでは、旅行券・ホテルディナー券が当たる!!)

同窓会レポート



第一回・第二回交流スポーツ大会
開催される!

この「交流スポーツ大会」は、今年度より同窓会の事業方針として企画されているものです。同窓会が、より在学生や卒業生との交流を深め、英知大学の発展に寄与せんとお願いから始められました。そして、これらの企画は大学関係者に同窓会の活動を理解していただく絶好の機会であると考えています。

大会は、在学生・卒業生・社会人の各代表からチームを編成し、ソフトボールなどの競技を通じて日頃の体力とチームワークを競うというものです。

第1回目は、3月16日(日)

に、英知キャンパスで開催されました。参加者は、約60名で時折肌寒い風が吹き小雨交じりのなか、元気にソフトボールを楽しみました。松本信愛先生が、



俊敏な動きのスポーツマンであることは、周知のことですが、井田規文教授が巨体をフル回転して打ち投げ走る姿は、意外でした。在学生たちは、若さと日頃の体力にものを言わせ、結局優勝しました。社会人チームは、平素本学のためにご尽力いただいている(株)六甲出版の方々が中心でしたが、辛くも破れ、悔しがることしきりでした。問題は、卒業生チームですが、足並もパワーも不足しており、優勝はほど遠い感じがしました。是非とも、強力な助っ人が必要と見られました。



ソフトボールの後はちゃんこ鍋で楽しむ

試合結果は、以下の通りでした。

【第1試合】

同窓会 13-17 六甲出版

【第2試合】

井田ゼミ 4-11 同窓会

【第3試合】

六甲出版 2-7 井田ゼミ

試合後、全員で「特製・ちゃんこ鍋」に舌鼓をうち、喜んだり自慢したり反省したりと、遅くまで宴は続いています。

そして、この交流スポーツ大会を「英知教職員と卒業生の懇親ビアパーティ」とともに、是非今後の定例行事にしたいと、役員一同意を強くしたいでした。これらの行事は、「変化する英知」に積極的に関わり、母校や在学生のお役に立とうとする同窓会の姿勢の表われとなることでしょう。

第2回目は、8月9日(日)

に開催されましたが、約70名が参加し、楽しい友好の場でありました。前回は、在学生代表の井田チームが優勝しましたが、今回は社会人チームの(株)六甲出版が優勝でした。前回の雪辱を果たすため、万全の体制で大会に臨んだようでした。往年の名選手を監督に総勢18名を繰り出し、応援も熱のもった真剣なものでした。もつともその内の3名は、本学の卒業生というのも心強い限りでした。それにつけても卒業生チームの不甲斐ないことしきりでありまし



在校生の優勝!!記念品贈呈

た。来春の大会では、卒業生チームの善戦が大いに期待されます。卒業生の皆さん、来春は是非ご参加ください。卒業生チームでも結構ですが、社会人チームとして、独自にチームを編成されても結構です。

ところで各チームの試合結果は次の通りでした。

【第1試合】

井田ゼミ 10-12 六甲出版

【第2試合】

同窓会 5-10 井田ゼミ

【第3試合】

六甲出版 6-5 同窓会

表彰式後、折しも台風11号の影響で強い風と時折降る小雨の中パーベキューとビールで、交流の場は大いに盛り上がりました。

当初、案内ではソフトボール以外に、キックベースも開催するとなっていました。希望者が少なく残念ながら開催されませんでした。次回にはソフトボールはちょ

っとハードだという女子の皆さんで開催できるように準備をしたいと思っています。何はともあれ、次回の大会では、是非とも卒業生チームの善戦・優勝が必至です。次回は来春3月に第3回大会が開催される予定ですが、多くの卒業生の皆さんの参加を期待いたします。クラス毎、クラブ毎、ゼミ単位など、男女混合、年齢混在など規定はありません。参加をお待ちしております。詳しくは、事務局までお問い合わせください。



募集

ソフトボールチーム
キックベースチーム
チーム成立の際には、事務局まで登録のご連絡をください。「交流スポーツ大会」のご招待状をお送りいたします。お待ちしております。



第一回教職員&卒業生懇親 ビアパーティ開催される

97年7月18日。平日でありながら多くの卒業生が母校へと足を運びました。それぞれ母校への思いはさまざまでしょう。母校への思い入れの中で恩師への想いはその大きな部分を占めていることでしょう。



ローラス大学から折しも来日中のエド・マズロフスキー先生ご夫妻をお迎えして

同窓会では教職員と卒業生との

懇親会を開きたいと3年前から議題として上がり、計画していましたが、これは学校職員に対して同窓会活動への理解を求め、そして積極的な同窓会活動をPRすることがねらいでした。計画はあったものの、その他、会の活動の充実を図ることが先決であったため、先送りとされてきました。

しかし今回、こうして懇親会を開催できるようになったのは、それら諸問題が整備されてきた結果であるといえるでしょう。

そんな同窓会役員たちの思惑とは関係なく、先生方、同窓生、準会員である現役生を交えて、楽しい会話が会場を包み込みました。和やかにビールを片手に繰り広げられる会話は、懐かしい学生時代を振り返るものであったでしょう。

会場には村雨貞郎（本名・前田定夫）氏も訪れ、英知大学で過ごした学生時代についての思い出や今後の執筆活動などについて述べられました。

英知大学に対する思い出はさま



乾杯をする岸学長と井勢健三教授



ざまなものがあるのだと改めて感じると共に、これからもこのような催しを積極的に開いてゆくことを通じて、同窓生と教職員、現役生との交流をさらに深めていきたいと感じました。

英知から「松本清張賞」！ 前田定夫氏が「マリ子の肖像」で受賞

本年5月16日、「第四回松本清張賞」選考会が東京で開かれ、その結果、村雨貞郎（本名・前田定夫）氏の受賞がまきました。作品は「マリ子の肖像」。氏は1949年1月30日高知県南国市生まれで、英知大学文学部イスパニア語イスパニア文学科中退後、新聞記者や広告制作、工員、運転手などを経て、執筆活動を続け、今回の受賞となったものです。92年には、「遠い街へ」で東北放送開局40周年ラジオドラマ脚本部門で佳作。93年「砂上の記録」で第15回小説推理新人賞受賞。その他にも「太陽へ駆ける」「夜汽車の女」「人食い」などを発表されています。



岸学長に「松本清張賞」受賞の挨拶をする前田定夫氏



母校で受賞のよろこびを語る前田氏

6月17日、東京・帝国ホテルにおいて贈呈式がおこなわれ、正賞として時計が、副賞として賞金10万円が贈られました。同窓会では、贈呈式会場へ祝電を打ち、同氏の受賞を心からお祝いしました。後日、同氏は「電報を読んで思わず鼻筋が熱くなり、何より嬉しかった」とお礼を述べられました。

また、7月18日（土）に学生食堂で開催された「第一回教職員&卒業生懇親ビアパーティ」にご招待し、岸学長をはじめ出席者全員でお祝いをしました。今後は、文藝春秋を中心に作家活動を続けるとのこと。今後ますますの活躍を期待したいと思います。

なお、受賞作品は、「文藝春秋7月号」に掲載されましたが、同窓会事務局では、ご本人のご了解を得て、コピーを準備し、ご要望に応じて配付しています。

（詳しくは、事務局までお問い合わせください。）

関東支部便り



昨今の凶悪な犯罪には目を覆いたくなる。特に6月末に逮捕された神戸の少年Aの事件については考えさせられることが多い。5月にたまたま読んだ「FBI心理分析官」の事が真つ先に思い起こされた。本の内容は過去の連続殺人犯の事例から新たな殺人事件の犯人像を絞って(プロファイリングという)捜査の支援をするというのだが、この少年Aの犯罪歴がその本の中で連続殺人を犯した罪人の経歴にそっくりだったのだ。最初は小動物から始まり幼児へと、具合に自分より弱いものを相手にし、だんだん本格的になっていく。このような犯人のほとんどは幼い時に何らかの理由で両親の愛情が得られなかったということである。

近くで、スペースも余裕がありやりやすかった。今回は家族でできるだけ気軽に参加できるようにお子様は無料にしました。当日は天候にも恵まれ、久々に家族サービスができたと思いでいたお父さんもいました。実はこのボーリング場は子どものためにガーターにならない装置がついていたのでこれら皆で楽しめた一つだったと思います。ワイワイガヤガヤ2ゲームをしたあと、近くのルノアールという喫茶店で表彰式を兼ねた親睦会をし、お開きになりました。

●6月21日(土)
「第7回関東支部総会」を開催。
 当日は大学側から神学科教授の高木シスターにご出席いただき、どんどん変化していく大学の現状をわかりやすく説明していただいたり、いろいろな質問にひとつひとついいねいにお答えいただいたりしました。面白かったのは関東弁に馴染めないらしいこと。

また今回若い年代の方々にご出席いただけましたのは、ひとえに就職課の須澤さんがお忙しいにもかかわらず、卒業間もない方々にアプローチしてくださったからです。総会ではお知り合い同士で近況報告をしたり、若い人たちの話を聞いたりしていました。また自己紹介の時、ボランティアをされているかたや商売に携わっているかたは、積極的にPRをしていました。(私もその一人ですが...)。一つ残念だったのは、せっかく高

木教授においでいただいたのに、いつも出席して下さるシスターがお越しになれなかったことです。総会閉会後は近くのホテルの喫茶室で、二次会を行いました。当初、須澤さんがいらっしやるので、関東で働いている方々に学生の就職の現状や受入れについてお話しをしていただこうと思っていたのですが、隣に中年女性のグループが陣取っていて、とても、それができる状況ではなかったのが、茶話会に変更になりましたが、これはこれでいろいろな話で盛り上がりつつあった。

以上おもなイベントの報告でしたが、これ以外にも、ハイキングをしようとか、趣味の集いをしようとかいろいろ話が出ていますので、総会などで知り合いお互いのことがより理解できればそういうことも可能になってくると思います。関東の皆さんにお送りしている情報ネットワークは、そんな時にも役に立ちますのでご覧下さい。今年3回目の発行だったので、情報量が前回の3倍になりました。卒業生のみならず、その配偶者や子どもさんなどの近況や職業・趣味など情報が満載です。

最後になりましたが、本部の方々にはいつもご協力頂き感謝いたしております。今後とも、活発な同窓会活動ができるようがんばりますのでご支援の程よろしくお願いいたします。

関東支部 永森孝夫

岸学長代理で挨拶される高木慶子教授



さて私たち関東支部は幹事一同それぞれ忙しさに負けそうになりながら、なんとか支部会員の皆さんと楽しく、有意義な活動をしようと思っています。

●2月22日(土)
「第2回家族そろってボーリング大会」を実施。
 前回は渋谷で行ない、会場が狭く落ち着かなかった感じでしたが、今年は場所もJR恵比須駅の



集った実年の先輩たちと最近の卒業生

本学の吹奏楽部は、創部20年になり、今日では部員も15名になっております。

出演の機会も増え、英知祭、尼崎市民まつり、老人ホーム慰問と恒例行事に加え、クリスマスパーティーやハーバーランドでのコンサートなど多岐にわたっています。

また、最近では唯一尼崎市内の他大学である園田学園女子大学吹



HELP!
 讓ってください!
英知大学・吹奏学部
経済的危機に!
楽器が眠っていませんか?
遊んでいませんか?



奏楽部との交流も盛んにおこなっております。

つきましては、吹奏楽部の予算では、楽器の修理や譜面の購入などの経費に追われ、思うように楽器の補充や活動ができない状態です。そこで、先輩方のお宅に吹奏楽器が眠っていたり、遊んでいたりにしていませんか。たいへん厚かましいお願いですが、それらをお譲りいただけませんかでしょうか。フルート・クラリネット・サクソス・トランペットなど、吹奏楽に關する楽器であれば何でもかまいません。

また、修理が必要であっても結構です。現在の部に残る楽器は、修理すらできないような状態です。ぜひ、よろしくお願いいたします。

よろしければ、左記までご連絡ください。お願いいたします。

連絡先

多々納 達彦 (神・2回)
 〒655 神戸市垂水区星稜台
 8丁目4番6号
 電話 (078) 785-7833

これから



(昭和44年 西文科入学)

村雨貞郎

(前田定夫)

二十数年ぶりに大学を訪れた。建物は増えていたが、全体の印象は昔と変わっていない。ポプラ並木の成長が、過ぎ去った歳月を感じさせはしたが…。

「あの頃から、ここから見る夕陽は最高だった」

同窓会で会った友人のKが、六甲山を見つめながらそう言った。そのとき私は、ほおーと思った。Kの、その頃の淡い初恋を知っていたからだ。感慨は、人それぞれにある。「夕陽が眼に沁みる」私は、Kと違った思いで、西の

空を見ていた。「あの頃に帰りたいか?」そう訊かれたら、答えは「ノー」だ。思い出は、苦すぎる。

そのとき、私が考えていたのは遠藤周作の「わたしが・棄てた・女」のテーマだった。学生時代、私はその本を読んだ。

“本当に、神はいるのか?”

あの頃は、深くは考えなかった。小説を書き始め、ふと、そんな自問に立ち止まってしまふ。人間とは何か?と。

「これから、どうしよう」何度、何十度とそう思ってきたか…



これからどうしよう…。そんな思いは、今もある。

山本周五郎の小説に「将監さまのほそ道」というのがある。

“岡場所”で働いている女主人公が言う。「五十年前…」わたしは生まれていなかったと。そして「五十年あと…」わたしは生きていない、と。どんな哀しみも、その間のことだと。もし神がいるのなら、人間の失意も栄光も、神の一瞬の瞬きにすぎない…。そんな気がする。ポコ・ア・ポコ、でやっていくしかない。



留学生から お便りが 届きました

同窓会では毎年、留学生を支援するための奨学金を出しています。留学生からの礼状も今回が初めてではありません。今回、同窓会活動をより深く皆さまに知っていただくとうと、寄せられた礼状の一つを紹介します。

私たちにとって、後輩からの便りをさくことは学生時代を思い起こし、なつかしい思いがします。語学の勉強に明け暮れた日々。そして初めてその言葉が通じたときのよろこび。私たちの誰もが一度は経験していることでしょう。今、私たちの後輩が、そんな努力を重ねる日々のまっただなかにいるようです。苦しさの中に喜びがあり、つらいことを乗り越えることによって明日にはより大きく成長していることでしょう。そんな留学生たちに心からエールを送りたい。同窓会からの願いです。

Angers, le 10 août 1997

残暑お見舞い申し上げます

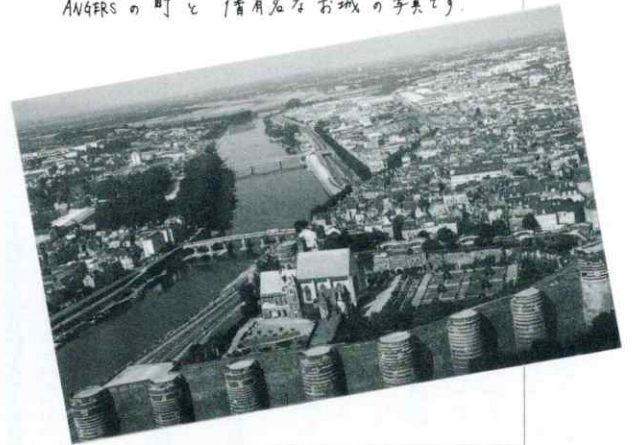
今日、留学奨学生として採用されたいうれしく思います。
留学してはや6ヶ月が過ぎ 自分でも驚いています。
来日当初 2月～5月は大変 つかれました。
日常生活 全てに フランス語が 関わっており、衣食住が困難でした。授業中 先生が言われた宿題 1つに1つ見当違いなことを やっていたり、先生が言われた質問の答えではなく 質問自体が 分からないことが 数多くありました。何をやる為の手段である言葉が 欠けたのは初めてのことで、なんと 先生も 厳しい気持ちでした。独自のフランス語で はいり先生が 通じるようになつた今でも、みんなの 会話に入っているが、フランス語が 理解できない 人ばかりなのが つらいところです。
さて、この8月ですが 夏休みで、友達や家族が フランスに来るのを待っています。夏休みや 暑さの 為、ほっとしがらでしたが、奨学生として 採用されたという 通知を機に 心を新たに 頑張りたいと思います。

日本の残暑は厳しいと思いますが、お体に気をつけて下さい。

さぶら

追伸

ANGERS に来られた ことあるかも知れませんが、葉書きを1枚 同封しておきます。
ANGERS の 町と 1番有名なお城の写真です。



THE EDITOR'S COMMENT

前回の会報でお知らせした「4月13日、阪急芦屋川に集れ」の企画は、残念ながら参加者が集まりませんでした。

当日、会報に記載した私と、発案者の前中氏との二人で芦屋川駅に集合し、参加される方の来るのを今か今かと待ちかまえておりましたが、結局どなたも来られませんでした。残念でなりません。

私と前中氏とはそのまま帰るわけにもいかず、二人だけで春の六甲山を楽しんできました。当日は天気も良く、清々しい気候でした。あまりに天気が良かったためか、途中のロックガーデンでは岩の間を軽快に歩き回る野性のイノシシを見るなどのハプニングもありました。丸々と太った元気の良さそうなイノシシです。彼らは多くの観光客の間においても全く臆することなく、堂々としていました。まあ、

六甲山は彼らの家のようなものでしょうから、我々が彼らの庭をお借りして歩いているといった表現の方が正しいかも知れません。

私達は、山頂に立ちとくとや街道を通って有馬へとぬけました。ここちよい疲れを楽しみむことができました。その後有馬温泉と温泉の後のビールの味は格別でした。ビールを飲みながら、今回のような企画を、たとえ不発であっても続けなければならないと話し合ったものです。

会報も8号を数えるに至りました。毎回、よくでき上がったものだと胸をなで下ろすばかりです。今回もそうでした。ご協力頂いた皆さまに感謝いたします。

英知大学同窓会 大月 力

